

2014年5月21日

デンバー美術館でアメリカン・ウエスト・ブロンズ展開催 古き西部を新しい切り口で紹介する世界初の展示

コロラド州デンバーのダウンタウンにあるデンバー美術館で世界でも初めての「アメリカン・ウエスト・ブロンズ」特別展を開催中です。1850年から1925年に28名のアーティストによって制作された72体のブロンズ像の特別展で、デンバー美術館ウエスタン・アメリカンアート・ペトリー協会のトーマス・スミス氏とニューヨークのメトロポリタン美術館の共同監修で本年5月11日からスタートし、8月31日まで開催されます。

世界初となる「アメリカン・ウエスト・ブロンズ」特別展ではアメリカンインディアン、カウボーイ、騎馬隊、開拓者、馬やバッファローなど、1800年代後半から1900年代初頭にかけてのアメリカ西部を象徴する数々の作品がご覧いただけます。国際的にも知名度が高く、アメリカ西部の偉大な美術家と称されるフレデリック・レミントンやチャールズ M ラッセルを初め、ハーモン・アトキンズ・マックニール、ポール・マンシップなどの作品は必見です。中でも、フレデリック・レミントンが最初に作り上げたブロンコ・バスター(1895)はアメリカの芸術史上最も人気の高いブロンズ像で、シャイアン(1901)は類まれな動きを表現した意味では最高傑作ともいわれています。史実、小説、あるいはその双方にまたがる解釈で様々な論じ続けられるアメリカの古き良き西部を3次元的に表現した貴重なコレクションで、デンバー以外ではニューヨークと中国の南京美術館のみで開催される特別展です。



フレデリック・レミントンの「シャイアン」
Photo: Courtesy of Denver Art Museum

デンバー美術館について:

コロラド州の州都であるデンバーは芸術と文化が充実した街としても名高く、年間4000万ドルもの税収入を300以上の芸術関連団体や施設に還元しています。なかでもデンバー美術館は、先史時代から現代まで、アメリカからカナダといった広域にわたる様々なアメリカ先住民族の芸術品のコレクションが充実していることで有名です。デンバー美術館は1920年代からこれらのアメリカ先住民のアートを集めた最初の美術館で、現在ではその所蔵数は2万点にも及びます。美術館の建物は建築家ダニエル・リベスキンドの設計によるもので、建物そのものも芸術品といわれています。

コロラド州について:

アメリカの屋根とも言えるロッキー山脈に広がるコロラド州は標高が高く、州都デンバー市は 1600m、郊外には日本のアスリート達が高地トレーニングを行うボルダー市があります。州の観光資源を代表する国立公園は 4 つあり、そのうちの一つメサベルデ国立公園は世界文化遺産です。コロラド州は、初夏には色とりどりの高山植物が美しく咲き乱れ、秋はアスペンの森が山々を黄金色に染め、冬にはワールドクラスのスキーが楽しめるといった、四季それぞれの魅力があふれています。数々の鉄道、サイクリングやハイキングのアウトドア、そして、あちらこちらに湧き出る温泉や鉱泉など様々なアトラクションの選択肢があるのも特徴です。また、ロッキー山脈から湧き出る美味しい水を使った地ビール、地産地消の新鮮なオーガニックの野菜や肉を使った洗練された料理が味わえるアメリカを代表するカルナリーツーリズムのメッカでもあります。

コロラド州政府観光局

公式サイト:

<http://www.visitcolorado.jp/>

Facebook ページ:

<http://www.facebook.com/VisitColorado.JP>

Twitter:

<http://twitter.com/visitColoradoJP>

本リリースに関するお問い合わせ先:
コロラド州政府観光局 南部貴子
TEL: 042-549-1489 / FAX: 042-549-1453
E-mail: tnambu@uswest.tv